

科目名 (英)	介護総合演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
	( Nursing Care Integrated Seminar Ⅱ )	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
学科・コース	介護福祉士科					曜日・時限	木曜、1・2時限目

【授業の学習内容】

実習中の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会または実習期間中に学生が養成施設等において学習する日を計画的に設けるなど、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習ができる。実習施設の役割と機能、施設利用者とその家族の生活ニーズが理解できる。利用者・家族のニーズに対する介護福祉士の役割と自立に向けた多職種協働の意義と役割が理解できる。

※実務者経験:①福祉施設等に所属していた。主業務は障害児者及び高齢者の介護業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士

②福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護、相談支援業務を担当していた。取得資格:社会福祉士・介護福祉士

【到達目標】

実習施設の概要と利用者の生活ニーズが理解でき、介護福祉士に求められる倫理性と専門性の明確化が図れる。また個別ケアや多様なサービス形態のあり方が理解できる。質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解できる。

授業計画・内容

1回目	「1年次実習の振り返り①」…実習の振り返りと発表などを行うことで、学生同士の学びの共有が図れる。
2回目	「1年次実習の振り返り②」…実習の振り返りと発表などを行うことで、学生同士の学びの共有が図れる。
3回目	「1年次実習の振り返り③」…実習中に記入する実習記録を再検討することで、完成度の高い記録が書けるようになる。
4回目	「実習事前指導①」…1年次の実習で経験した『困難事例』について、グループワークを通して解決策が図れる。
5回目	「実習事前指導②」…1年次の実習で経験した『困難事例』について、グループワークを通して解決策が図れる。
6回目	「実習事前指導③」…障害の種類と自立支援について理解できる。
7回目	「実習事前指導④」…障害者施設の利用者の生活像について、グループワークを通して理解できる。
8回目	「実習事前指導⑤」…障害者施設の利用者の生活像について、グループワークを通して理解できる。
9回目	「実習事前指導⑥」…利用者の個性を重視することの大切さについて理解できる。
10回目	「介護過程の展開の情報収集①」…情報収集の目的と活用について理解できる。
11回目	「介護過程の展開の情報収集②」…情報収集の目的と活用について理解できる。
12回目	「共感的・受容的に接する技術①」…バイステックの7原則の概要と実習中の活用場面について理解できる。
13回目	「共感的・受容的に接する技術②」…援助技術の活用と他者と円滑にコミュニケーションを図る方法について理解できる。
14回目	「他職種との連携①」…各種専門職の業務と連携について理解できる。
15回目	「他職種との連携②」…他職種と介護職との連携のあり方について理解できる。
16回目	「介護過程の展開について①」…実習における介護過程の展開と、実習の目標の設定方法について理解できる。
17回目	「介護過程の展開について②」…実習における介護過程の展開と、実習の目標の設定方法について理解できる。
18回目	「介護過程の展開について③」…実習における介護過程の展開と、実習の目標の設定方法について理解できる。
19回目	「介護過程の展開について④」…実習における介護過程の展開と、実習の目標の設定方法について理解できる。
20回目	「実習の展開①」…最終実習の実習計画の作成と記録について理解できる。
21回目	「実習の展開②」…最終実習の実習計画の作成と記録について理解できる。
22回目	「実習の展開③」…最終実習の実習計画の作成と記録について理解できる。
23回目	「実習の展開④」…最終実習の実習計画の作成と記録について理解できる。
24回目	「実習終了時に行くこと」…最終実習を終えた際の反省点と、課題解決の方法について理解できる。
25回目	「実習の振り返りの重要性」…実習を振り返ることの意義と目的について理解できる。
26回目	「介護福祉士の職業倫理」…求められる介護福祉士像と自身の将来像について理解できる。

27回目	「実習報告会①」…在学時の実習の学びについて、各自の発表を通して理解できる。
28回目	「実習報告会②」…在学時の実習の学びについて、各自の発表を通して理解できる。
29回目	「実習報告会③」…在学時の実習の学びについて、各自の発表を通して理解できる。
30回目	「実習報告会④」…在学時の実習の学びについて、各自の発表を通して理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：新・介護福祉士養成講座⑩「介護総合演習・介護実習」（中央法規出版）	